

～会長の時間～

【ロータリー米山奨学会事業】

1) 9万人のロータリアンが支援：

米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家米山梅吉氏の功績を記念して発足しました。1952年に東京ロータリー・クラブで始められたこの事業は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年、文部省（現在の文部科学省）の許可を得て、財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。

2) 「奉仕の人」米山梅吉：

米山奨学事業の記念の称号を付した米山梅吉氏（1868－1946）は、幼少にして父と死別し、母の手一つで育てられました。16歳の時、静岡県長 泉町から上京し、働きながら勉学に励みました。20歳で米国へ渡り、8年間の苦学の留学生活を送りました。

帰国後、文筆家を志して勝海舟に師事しますが、友人の薦めで三井銀行に入社し常務取締役となり、その後、三井信託株式会社を創立し取締役社長に就任しました。信託業法が制定されると逸早く信託会社を設立して、新分野を開拓し、その目的を”社会への貢献”とするなど、今日でいうフィランソロピー（Philanthropy*）の基盤を作りました。

晩年は財団法人三井報恩会の理事長となり、ハンセン病・結核・癌研究の助成など多くの社会事業・医療事業に奉仕しました。”他人への思いやりと助け合い”の精神を身もって行いつつ、そのことについて多くを語らなかつた陰徳の人でした。

3) 米山奨学金の目標について：

- 国際ロータリー第2650地区目標：年間寄付1会員24,000円以上
- 三国クラブ目標：年間寄付1会員24,000円以上（地区目標と同様）

はじめての♪ 4つのテスト



～地域の魅力を創る仕事～ 坂井市シティセールス推進室長 林 利夫様



菜の花が
咲き始めましたよ～

